

平成26年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	北堀 中沢
	全体計画						経費区分		実施計画事業費		内線	3254
事務事業名	11705 霊園施設整備事業											
所 属	140100 環境部・生活環境課											
施 策	03011300 環境衛生施設の整備											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	040107 衛生費・保健衛生費・霊園管理費										
	事業	020000 霊園施設整備事業										
事業目的						事業概要・効果						
市営霊園整備						市営霊園施設内の整備を行い、使用者の利便性を向上させる。 新松川霊園の造成により長年の陥没移転対象者の移転工事が進んでいる。 移転後の区画整備と跡地利用について検討していく。						

PLAN-DO
年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
平成24年度 実績	平成25年度 実績
平成26年度 予定	平成27年度 予定
松川霊園の移転後の区画の仮整備	松川霊園移転後の区画の後利用検討 老朽化した坂田霊園の計画的な整備

指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成25年度 決 算	平成26年度 予 算
事業費		0	7,000
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		0	7,000
人員数(人)	正規職員	0.6	0.4
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	4,114.8	2,743.2
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	4,114.8	2,743.2
市民一人当たりの経費		0.1	0.2
総額		4,114.8	9,743.2

(単位：千円)

平成25年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

平成26年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	2,000	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	5,000	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	長年の懸案事項であった松川霊園の陥没問題に区切りをつけることができる。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	地元との調整をしながら最低限の整備は必要	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	利用者の使用料により経費の確保はできる。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

移転後の松川霊園跡地の活用について検討必要。
また、老朽化した坂田霊園の改修計画についても検討する必要がある。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
施設の利便性を向上させるため、今後も計画的に施設修繕を行うとともに、施設維持管理を適正に実施する。 。		長年の懸案であった、松川霊園の陥没問題に対し、新霊園の造成、移転補償、数次にわたる新規使用者の公募など、粘り強く事業を進めて来た。平成26年度は、移転跡地及び既存区域の整備を進める。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	